

要 望 書

令和8年7月

福井県あわら市議会・石川県加賀市議会

あわら市議会と加賀市議会は、福井県と石川県の隣接する市として、
また、温泉を有する観光都市として、両市共通の課題解決に向け、友好
交流議員連盟を設立するなど協力しながらの活動を行っております。

あわせて、両市議会では、毎年、合同による要望活動も実施しており
ます。

つきましては、令和9年度の国の予算編成及び施策の展開に当たり、
地方の声を十分に反映していただき、別記案件の早期実現に
つきまして、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

令和8年7月15日

あわら市議会議長 室 谷 陽一郎

加賀市議会議長 山 口 忠 志

国道 8 号の整備促進について

国道 8 号は、新潟市を起点とし北陸三県を経て京都市に至る主要な幹線道路であり、広域的な交通・物流や観光、産業、地域経済を支えるとともに、大規模災害時における緊急輸送道路として重要な役割を担っています。

しかしながら、国道 8 号石川・福井県境部は、事前通行規制があるほか、平成30年 2 月及び令和 3 年 1 月には大雪により長時間の通行止めが発生するなど課題が多い区間であります。

このような中、本道路は、令和 6 年能登半島地震をはじめ、近年全国各地で激甚化・頻発化する自然災害の発生時においても、緊急かつ広域的な輸送路としての機能を発揮するなど、防災面においても極めて重要な役割を担うことから、一日も早い 4 車線化の完成が強く求められています。平成30年12月に加賀市及びあわら市で設立した、「国道 8 号加賀・あわら間整備促進期成同盟会」とともに、早期完成をお願いするものです。

この区間については、平成31年度に事業化され、現在、用地取得が進められているところではありますが、今後もこの道路の重要性・緊急性を認識いただくとともに、地域の実情を踏まえ、次の事項について、特段の配慮がなされるよう、強く要望します。

- 1 平常時、災害時を問わず、安定的かつ安全・円滑に利用できる道路網の確保に向け、重要物流道路に指定された国道 8 号における以下の整備を推進させるために、地方の実情を十分に踏まえ、資材価格の高騰や賃金水準の上昇が続く中においても、必要な道路整備が長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設を含めた財源措置を講じるとともに、令和 9 年度道路関係予算総額の満額確保を図り、地域の要望に応えること。

- (1) 石川・福井県境部における牛ノ谷道路4.6キロメートルと金津道路4.3キロメートルについて、完成目標年度の明確化と早期工事着手。
 - (2) 用地取得済みの福井バイパス（福井県あわら市笹岡～坂井市丸岡町玄女間）における4車線化整備の完成時期の公表と早期完成。
 - (3) 取得済みの用地について、周辺環境に配慮した適切な維持管理。
- 2 防災・減災、国土強靱化の取組については、令和9年度においても必要な予算・財源を確実に確保すること。あわせて、令和6年能登半島地震の教訓を踏まえて策定された第1次国土強靱化実施中期計画に基づき、国土強靱化に必要な予算・財源については通常予算とは別枠で確保し、継続的かつ計画的に取り組むこと。
- 3 大規模自然災害などに即応するための地方整備局などの体制強化や必要となる資機材のさらなる確保に取り組むこと。
- 4 災害時の対応および産業・観光等の経済活動の活性化のため、人流・物流の円滑な移動の確保に向けた高規格道路の整備とダブルネットワーク化により、国土をつなぐ幹線道路ネットワークの構築を図ること。
- 5 道路の安全・安心の確保に向け、橋梁、トンネル、舗装等の老朽化対策や交通安全対策を推進すること。

福井県あわら市議会・石川県加賀市議会 要望位置図



観光産業への支援の拡充について

あわら市・加賀市の両市は、全国有数の温泉を有し、「観光産業」が市民生活及び地域経済を支える基幹産業として重要な役割を果たしています。

令和6年3月には、周辺自治体の悲願とも言える北陸新幹線の敦賀延伸開業により、首都圏とのアクセスが今まで以上に向上したことは喜ばしい限りであり、関係各位の永年にわたる御尽力に対し深く感謝申し上げます。

一方、当地域においては、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、令和6年能登半島地震をはじめ、国際情勢に起因する物価高騰等により、「温泉観光地」としての回復は依然厳しい状況が続いております。

温泉観光地経済の本格的な再生及び持続的成長を実現するためには、国による一層の支援が不可欠であります。地域の実情を踏まえ、別記事項について、特段の御配慮を賜りますよう強く要望します。

1 県境を越えた広域連携による観光推進について

令和6年、北陸新幹線の敦賀延伸により、交流人口及び関係人口の拡大など開業効果が着実に現れている。

福井県嶺北地域と石川県加賀地域には、白山連峰から越前加賀海岸にいたる豊かな自然や温泉、恐竜など、観光資源が集積しており、当該2市では、県域を越えた一体的なプロモーションや誘客に取り組んでいるところであり、今後もより一層の強化を図る必要があるため、国内外からの誘客を一層促進するための総合的な支援を講じること。

2 温泉地に対する財政措置等について

現在、国を挙げて「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取り組みが進められており、温泉地の価値が国際的にも高まりつつある。そうした中、温泉を重要な観光資源としている両市において、観光客の受入態勢を整える必要があると同時に、温泉地の特色を生かした都市基盤の整備が急務である。

特に、ごみ処理、下水道などの環境対策やホテル等の宿泊施設の防災対策、滞在者に対する安全確保対策など、財政需要はますます増大していることから、温泉地における特別な財政需要に対する措置を講じていただくとともに、国際観光ホテル整備法の規定により地方税の軽減を行った場合における減収分について、所要の交付税措置を講じること。

3 国内観光の活性化及びインバウンド旅行需要拡大への対応等について

国内観光の活性化やインバウンド旅行需要拡大への対応等に向け、受入環境の整備や観光産業の収益力向上、高付加価値化、観光資源の磨き上げなどに積極的に取り組めるよう、施設等の改修に対する助成、DXの推進等の整備への助成など、ハード・ソフト両面での支援を行うこと。